



～センター講座について～

今年度のセンターの講座も残すところ2つとなりました。「彩湖周辺の野鳥・晩冬」と「竹細工」です。興味がある方は、ぜひご参加下さい。センターでの講座を対象者で分けると一般向け、親子、小・中学生となります。その中でも親子対象の講座は、親子で協力しながら、ものづくりや観察、体験活動などを行うことで、親子のよりよい関係づくりのきっかけになるのではと考えています。また、小・中学生対象の講座では、子どもたちが自ら考え、進んで取り組むことで生きる力の育成につながると考えます。このように、センターの講座は、それぞれの対象者によって目的は異なりますが、「自然とのふれあい」を共通テーマとしています。4月からまた、平成22年度の講座が始まります。これまで参加された方はもちろん、参加されたことのない方もぜひお申し込み下さい。（次年度の講座予定は、4月号でお知らせいたします。また、戸田市ホームページ「イベントカレンダー」でもお知らせしていく予定です。） (T)



季節の生き物

セリ(芹・セリ科)



センターミニ彩湖南側木道^{かたわ}の傍らの枯れ草の中でひとときわ緑色際立つセリの葉が見られるようになりました。セリは、日本各地はもちろん、北はサハリンから南はインド、オーストラリアの国々でも見られます。春の七草の一つで、香りがよいので七草がゆやおひたしで食べられています。和名は、晩秋に新苗^せがたくさん出る有様を「^ひ競り合っている」ところから名付けられたと言います。これからはお一層陽のぬくもりを感じて葉を大きく広げていくことでしょう。(W)

「竹」について

2月20日(土)に「竹細工」という講座があります。(詳細は下記を見て下さいね!) よくタケは「草」なのか「木」なのかという質問を受けます。タケは、「草」のように伸びても、「木」のように太くならないので、「草」のなかまと考えられています。タケは、春にタケノコを出して一気に伸びます(1日に1m伸びることもあるらしいですよ!)。では、春以降は全然成長しないの?というのと、そうではなく土の中で伸びているのです。そして、次の年の春に備えているようです。掘ってみたら全部つながっていて1本のタケだったということも多いみたいです。そうしてじわじわ大きくなって、100年くらいに一度だけ花を咲かせて枯れてしまうという、とっても不思議な生態をしています。(I)



お知らせ (2月の講座)



2月14(日) **野鳥観察会** ※雨天実施

「彩湖周辺の野鳥・晩冬」 対象:一般・親子 20名程度

本年度最後の野鳥観察会です。興味はあるけど、詳しくないなあ…という初心者の方もご安心を。やさしい講師の先生に、気軽に何でも聞いて下さい。ベテランウォッチャーの方も暖かいバスで移動しながらの観察会は、彩湖ならではのですよ。アットホームな観察会ですので、大人の方も、ご家族もお気軽にご参加下さい。

○時 間:10:00~12:00

○持ち物:双眼鏡(貸出可) ※寒いので、防寒をしっかり!

○参加費:100円(保険代)



2月20(土) **親子ふれあい教室** ※雨天実施

「竹細工」 対象:親子(小学生以上) 30名

道満でとれた竹を使って、竹細工に挑戦しませんか。道具の使い方を練習しながら、コップや貯金箱など思い思いの作品を作ってみましょう。1本の竹でも工夫次第でたくさん作品が作れます。

○時 間:10:00~12:00

○持ち物:軍手、のこぎり・小刀(貸出可)、作品を入れる袋

○参加費:100円(保険代)



★申込方法:彩湖自然学習センターへ電話申込みか直接ご来館ください。(3階事務室)
なお、申込みは、講座の1か月前から受け付けています。

多数の参加をお待ちしています!!



センターの
ホームページ
を見てね!

戸田市立図書館・郷土博物館分館彩湖自然学習センター
〒335-0031 埼玉県戸田市大字内谷2887番地
Tel:048-422-9991 FAX048-422-9993
URL:<http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html>
E-mail:kyo-saiko@city.toda.saitama.jp